

ふれあいたまこ

「ふれあいたまこ」は多摩湖町福祉協力員会の広報紙です。年2回(8月・2月)発行し、多摩湖町の全戸に配布しています。

第42号
平成26年8月

発行:多摩湖町福祉協力員会
連絡:Tel.397-8745
(地区長 横田 せつ子)

東村山市社会福祉協議会
東村山市野口町1-25-15
(Tel. 394-6333)



平成26年度 長寿記念品のお届け

- ・記念品お届け日:平成26年9月10日(水)~9月30日(火)の間
※受領印をお願いいたします。
- ・対象者:「敬老の日」(9月15日)を77歳以上でむかえられる方
- ・お届けする者:多摩湖町福祉協力員(身分証明書をご確認ください)
- ・ご連絡、お問い合わせ先:東村山市社会福祉協議会「長寿を共に祝う会」
担当まで 電話 042-394-6333(瀧澤・中里)

熱中症!大丈夫ですか?

毎日暑い日が続きますが、皆さん熱中症対策はしていますか。

家の中にいるから大丈夫と思っていないませんか。それは大きな間違いです。対策としては、水分を多めにとる(水やお茶)、エアコンをつける、扇風機を回す、水分を多く含んだ果物や野菜を食べる、などがあります。

また、めまいや立ちくらみを自覚する。筋肉痛やこむらがり。拭いても拭いても汗がどんどん出る。頭痛、悪感、はきけ、倦怠感。等々の症状(『かくれ脱水』)が出たらすぐに病院へ行きましょう。

末筆になりますが、今年度もご長寿の記念品をお届けいたします。協力員一同皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

(多摩湖町福祉協力員会地区長 横田せつ子)

平成26年度 多摩湖町福祉協力員会の活動予定

平成26年

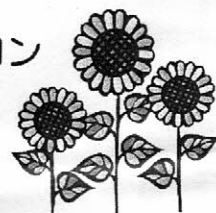
- 6月23日(月) / 第1回昼食会
- 7月 8日(火) / 協力員研修
- 8月 2日(土) / 多摩湖町納涼の集い協力
- 8月23日(土)・24日(日) / 多摩湖ふれあいセンターまつり協力
- 8月 / 広報誌「ふれあいたまこ」発行
- 9月 / 長寿記念品手配り
- 10月25日(土) / 健康講座in多摩湖町介護予防大作戦
- 11月17日(月) / 第2回昼食会
- 12月 / ミニコンサート
- 12月 / 多摩湖ふれあいセンター餅つき大会協力



平成27年

- 1月16日(金) / バス研修
- 2月 / 広報誌「ふれあいたまこ」発行
- 3月 / 多摩湖フェスタ
- 3月23日(月) / 第3回昼食会
- 4月 / 多摩湖町さくらまつり協力

※毎月1回 / 手芸サロン「ひまわり」



サロン活動になりました 手芸サロン「ひまわり」

4年間趣味の活動の「ひまわり」から、今年4月より社会福祉協議会のサロンとして認められ補助金を受けられるようになりました。

活動内容は和服を解いて小物などに再生し、自分たちの腕試しにとバザーなどに参加し、売上金は協力員会に寄付します。サロンになったおかげで、お茶菓子付きになりました。

ユニークな特徴は 全員が先生と生徒役を担うこと。先生は毎月交代制で作品の提案から完成までを受け持つことです。

ほぼ同年代のメンバーなのでワイワイ、ガヤガヤ「メダカの学校」のようです。手も動かしますが、情報交換も混じえておしゃべりは満開・花盛りです。お茶で落ち着きを取り戻し「また来月!!」と家路につきます。

活動日：毎月第1月曜日(原則) 13:00~17:00

場所：多摩湖ふれあいセンター

会費：無料

元気に年を重ねたい方、見学の方、他のどなたでも大歓迎です。お待ちしております。

手芸サロン「ひまわり」一同
問い合わせ 042-394-0031 千葉

お知らせコーナー・お願いコーナー

第41回
福祉バザー売上報告

第1弾 (会場：社協) 878,510円

878,510円

第2弾 (会場：青葉) 389,847円

389,847円

経費を除いた収益は1,033,647円でした。 合計1,268,357円
皆様のご協力ありがとうございました。

一円貨募金

(8月20日現在)

ご協力有難う
ビス事業、ふれ

《民生委員・児童委員 掲示板》 その①

今回から民生委員・児童委員(以下民生委員という)に係わることについて、シリーズでお届けします。

民生委員は民生委員法に定められており、同時に児童委員は児童福祉法によって民生委員が兼ねることになっています。

民生委員とは「社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるものとする」と規定されています。

民生委員は地域での身近な相談相手であり、「地域住民との孤立を防ぐための支援、生活に困っている人の相談や援助、医療や介護に関する相談、消費者被害防止の相談など」地域福祉を担う一員として活動することを主眼としています。

また、高齢者、障がい者、子育ての家庭などの担当地域での見守り活動、安否確認や友愛訪問、子どもたちの声掛けなど行っています。

なお、相談内容に応じて必要な支援が受けられるよう下記の関連機関と密接に連携・協力して“橋渡し役”になっています。

《市役所関係部署、子ども家庭支援センター、児童相談所、学校、児童館、保健所、社会福祉協議会、地域包括支援センターなど》

昨今の少子高齢化の波は民生委員の役割や存在は年々増加し、その内容も多様化、煩雑化しています。

新多摩湖町福祉協力員紹介

- ◆増子正子 (2丁目)
- ◆清水敦子 (3丁目)
(民生・児童委員)
- ◆鯨井佳子 (西武園住宅)
- ◆小山みね (西武園住宅)
- ◆平尾綾子 (西武園住宅)
- ◆竹内志織 (都営住宅)
- ◆山中喜美子 (都営住宅)



多摩湖町 325,622 円
市全町 4,242,531 円

ございました。一元貨募金は、移送サー
あい事業、助成事業などに使われます。

の会
お費
願納
い入

※社協会員の皆様のお宅に福祉協力員が集金に伺います。

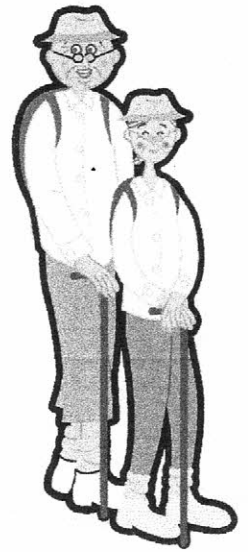
期 間:10月から12月

年会費:個人正会員の場合 一口500円(一口以上)

どうぞ引き続き会員になっていただけますようお願い申し上げます。

◇多摩湖町を歩いてみる◇

四年半前に拡幅して開通した多摩湖町一丁目から四丁目の南北に延びる道路に架かる北川(旧後川)に宅部遺跡橋がある。その橋から100メートル上流に大きな石を積み重ねて、仮設の堰き止めを作り、沢山の鯉が悠々と泳いでいる。金色、青色、白色、黒色、赤と青や赤と白の斑が50センチに及ぶ大きいものまでその泳ぐ様は思わず足を止めてしまうほどだ。ここ2~3年は親子連れ、障がい者、高齢者の方が餌を与えてくれ、楽しみに来る人が多い。



かつてはせせらぎの川もヘドロが堆積、メタンガスが発生し、悪臭が漂い、葦や雑草が繁茂し、北川は死滅してしまった。20年前からは下水道も完備して、この川も大分浄化されたが、さらに鯉が汚れた微生物を食べてくれ、清々しい、きれいな川になった。

それは、昔のような清流に戻したいと北川の近くに住む、四丁目の池田さんら三人が集まって、仮設の堰き止めを行い、鯉を飼うことにした。鯉は池田さんらの心意気に感動し、小平市の方が放流に協力してくれた。夏は涼しく、クーラーもいらぬ、蚊もいない、臭いもない、人が楽しみに来てくれ、快適な日々を過ごしている。

池田さんは「これからも地域の人々の協力や手助けが得られれば、現在のような仮設の堰き止めを順次100メートル位を目安に3~4ヶ所を上流に作ってみたい」という。「鯉の沢山棲む北川にして多摩湖町のチョットした観光スポットになり、町の活性化になればいいのだが」と笑顔で熱く語ってくれた。

“ボランティア活動による、子供達・高齢者・障がい者が喜んでくれる、地域の活性化につながり、地域の絆を深めていく、環境に優しい取り組み”これが「地域福祉の原点」かもしれない。(S O)

《あ と が き》

今回の打合せの中で紙面について多少変更してみたいという考えの下、原稿量は比較的多く集まりました。「ふれあいたまこ」を読んでくださる方々の顔を思い浮かべながら、更によりよいものにしていこうと編集担当者の共通した思いが、地域の皆さんと何か新しい絆が生まれた様な気がします。残暑の砌、ご自愛専一です。